編集後記

＊『人文論集』第五六号を上梓することができ、ご寄稿者のご協力に心より御礼申し上げます。

＊今回は記念論文や特集は組まず、論文五編を収録いたしました。小規模ではありますが、書、演劇、歴史、思想、文化といった異なる分野の論考を収めた本号をご一読いただけば、法学部の語学・教養担当教員の持つ多様な思考に触れることができると思います。研究業績や研究紹介も収録していますので、論文寄稿者以外の教員の研究成果の一端も窺えます。

＊『人文論集』第四十五号以降の号は、すべて早稲田リポジトリから閲覧可能です。手作業で数えてみたところ、この十一年間に掲載された論文のうち半数以上がフランス語担当の先生方（退職者を含む）によるものでした。本号も五編のうち三編はそれに該当します。また、残りの二編も『人文論集』では「常連さん」の先生方から頂戴しました。法学部における語学・教養教育の向上、発展のため、別のご著書や論文執筆の合間を縫って毎回ご寄稿くださるその熱意と高い生産性に頭が下がります。

＊昨今は、学術上の倫理規定として一度使ったデータや分析対象を繰り返し使って同じ議論をしないよう、厳しく言い渡されています。どこに何を載せ、何を載せないかについては、戦略的に考えていかなければなりません。こうした状況下では専門の学術雑誌への投稿だけで手一杯となり、『人文論集』への投稿がつい後回しになってしまうのが多くの研究者たちにとっての現状です。法学部の語学・教養の理念を浸透させるべく、学生に一番近い場所にあるこの『人文論集』という媒体を通して、その意気込みを継続して実践されてこられた「常連さん」たちに改めて敬意を表すとともに、この先は「新顔」が増えるよう努めてまいりたいと思う次第です。

（武黒記）

（二〇一七年度編集委員　大森信徳、岡山具隆、首藤佐智子、武黒麻紀子、守中高明）

二〇一八年二月一〇日　印刷
二〇一八年二月二〇日　発行

非売品

編集者　武黒麻紀子

印刷所　㈱敬文堂

発行所　早稲田大学法学会

東京都新宿区西早稲田一―六―一
〒169―8050　電話　三二〇三―四一四一
振替口座　東京　九―七〇九二一番

http://dspace.wul.waseda.ac.jp/dspace/handle/2065/5246